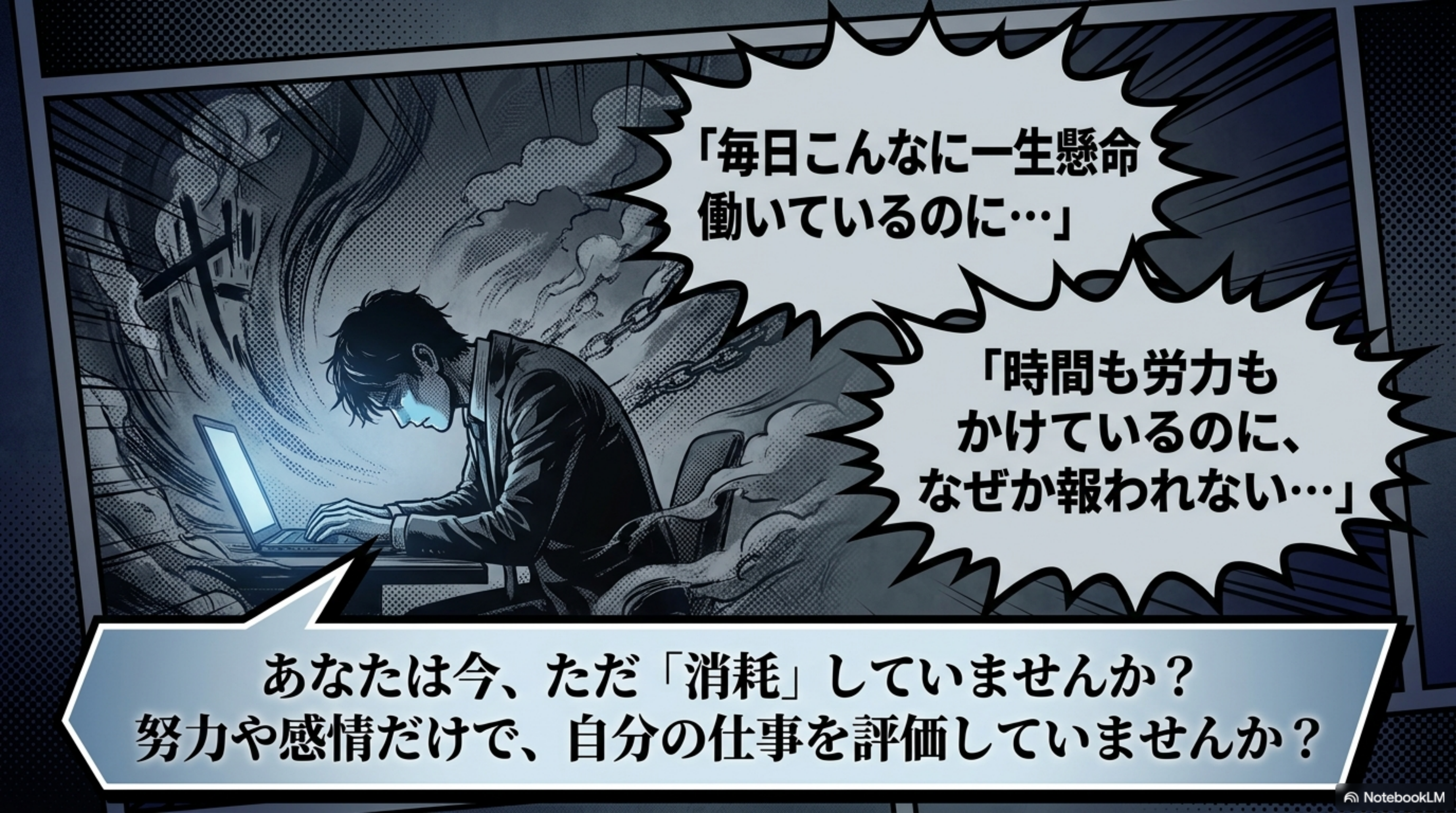


働かざる者 食らべからず

～「働く」の呪縛から抜け出し、
「ハタラキ」の真理を知る物語～





「毎日こんなに一生懸命
働いているのに…」

「時間も労力も
かけているのに、
なぜか報われない…」

あなたは今、ただ「消耗」していませんか？
努力や感情だけで、自分の仕事を評価していませんか？

働かざる者は、食うべからず。
遊ぶべからず。
生きるべからず。

この言葉は、冷たい警告ではない。TAOISMが紐解く、世界の「構造」である。

× 誤解【ただの労働】


ただ時間を使うこと。
ただ労力を
かけること。

目的が
「儲けること」に
なっている。

「結果と目的を、
逆転させては
いけない！」

◎ 真理【ハタラキ】

 **ヒトの為に
成ること。**

 **誰かの役に立った
「結果」として、
儲けがついてくる。**

一生懸命かどうかは関係ない。構造で測れ!



儲けているか?



稼いでいるか?



人の為になっているか?

この三つが揃っていないのであれば、それは**ハタラキ**ではない。
感情論ではなく、**構造**です。価値が届いているか、
誰かの役に立っているか、「**現実で測る**」必要があります。

ハタラキの本質 = 「価値の循環への参加」

自分の時間・労力で
「誰かの課題を解決」する。

「働くとは、
消耗ではない。
循環である！」

その結果として
「対価が返ってくる」。

なぜ「与える」 必要があるのか？

一人で生きている人はいない。
食事も、住まいも、
すべて「誰かのハタラキ」の上に
成り立っている。

受け取るだけでは成立しない。
与えることによって、
初めてバランスが取れる。
これが【**共同体の均衡**】。

ハタラキの実践フェーズへ!




【整える】

行動を現実に合わせる。
成果で確認し、ズレを修正する。

【問いを持つ】

自分は何を提供しているか？
誰の役に立っているか？価値は届いているか？

目を逸らしてはいけないシンプルな現実



「『働いているつもり』になっていないだろうか？」

「貢献しているつもりになっていないだろうか？」

「価値ではなく『感情』で判断していないだろうか？」

人は慢心する。重要なのはただ一つ、「価値が届いているかどうか」。ここから目を逸らさないこと。

TAOISMは「整える」思想

ハタラキを整える。価値を整える。循環を整える。

与え、受け取り、また与える。

この流れの中で、
人は生かされている。

徳を磨き、自分の役割を果たし、
共同体と共に歩むこと。
それが「働く」ということ。

**ハタラキがある者は、食うべきであり、
遊ぶべきであり、楽しむべきであり、
生きるべきであり、喜ぶべき存在である。**

あなたは今、どんなハタラキをしていますか？